

真夏の温度変化の研究

岸和田市立土生中学校

1年1組 芝 晴心

1. 研究の動機

よくニュースやインターネットで真夏の社内に子どもを置きざりなどの事件を目にするので、その危険度を調べたかった。

2. 準備物

温度計、時計、フライパン、卵

3. 実験方法

10:45 4つの温度計を室内でできるだけ同じ温度にする。

11:00 実験スタート。車外はフロントガラス前と車の陰
車内はダッシュボードと後部座席
目玉焼きも作れるか実験したいので、鉄板も温め
開始

11:05 ダッシュボードの温度計が50℃までしか計れなかったので
エラーがでた。

11:10



11:20



11:30



11:40



11:50

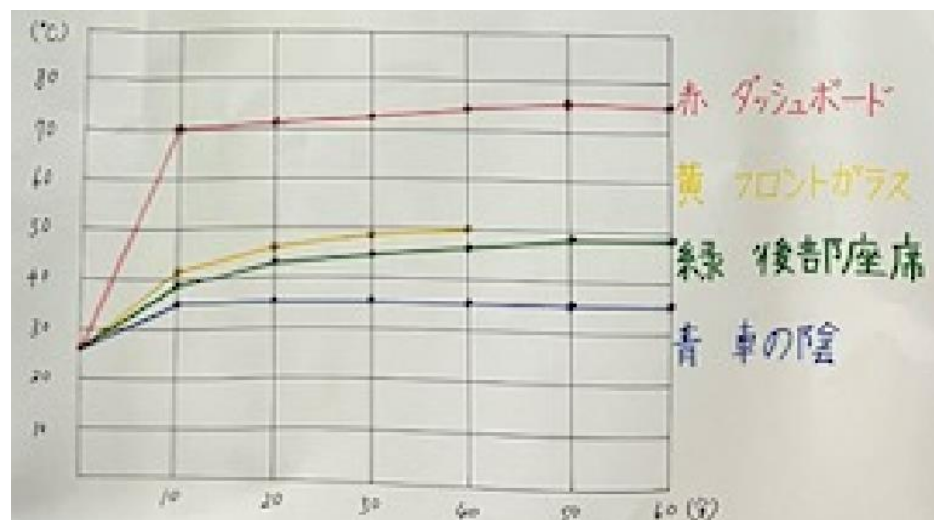


12:00



4. 結果・考察

フロントガラス、車の陰、後部座席、ダッシュボードでは、それぞれ温度の違いもあり、時間帯によっては、上昇の変化も見られた。特に車内では温度の上昇が大きく、問題視されている子どもを車内に置き、熱中症で死亡したケースが増えてきている。



5. 感想

失敗したことは、ダッシュボードに置いていた温度計の温度がたかくなりすぎて、エラーになった。そのことで、新たな温度計を準備した。実験中にフロントガラスの温度計もエラーになった。こんなにも温度が上昇すると思わなかった。今回は温度変化について調べたが、今後も季節ごとに調べていきたいと思った。